

科目名	政治学 Political Science						
科目担当者	千知岩 正継 CHIJIWA Masatsugu						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
	<p>本授業は、グローバル化によって各国が不可分に接続した世界の現状を重視し、国内外の様々な政治的営為を取りあげて、政治学と国際政治学の双方の観点から解説します。具体的には、第1～10回では、戦争、富の再配分、ナショナリズム、民主主義、環境、フェミニズムなどの政治学上の重要トピックを理論的に説明します。残りの5回分の授業では、戦後を中心に日本の政治外交とその課題を解説します。</p>						
授業の到達目標	<p>①国内外で日々発生する政治問題が自分の日常生活に直結していることを理解できるようになる。 ②具体的な政治問題について、その背景や論点を説明できるようになる。 ③政治関連のニュースを批判的に読み解くことができるようになる。</p>						
授業計画・内容	1	政治とは何か：政治、法、国際政治					
	2	国家と軍事力①：国家安全保障、戦争、抑止					
	3	国家と軍事力②：内戦、弱い国家、強い国家					
	4	ネイションとエスニシティ：国民国家、民族、ナショナリズム					
	5	正しい戦争：正戦論、開戦の正義、交戦の正義					
	6	正義論：社会正義、平等、ルールズ					
	7	フェミニズムと政治：ジェンダー、ケアの倫理、フェミニズム外交					
	8	環境と政治：人新世、エコロジー、緑の政治					
	9	メディアと政治：メディア・ポリティクス、世論、陰謀論					
	10	国境を越えるデモクラシー：グローバル化、グローバル社会、コスモポリタニズム					
	11	近代日本と戦争：日清戦争、日露戦争、アジア太平洋戦争					
	12	日本の政党政治：政党、立憲政治、55年体制					
	13	日本外交：日米安保、国連中心主義、国際貢献					
	14	現代日本政治の課題①：戦後平和主義からの転換					
	15	現代日本政治の課題②：沖縄の米軍基地問題					
授業外学修 (事前学修)	前回の配布プリントの再確認、ノートの整理（毎週 1.5 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	ノートの点検、配布プリントの設問の解答、テキストや参考文献の熟読、国内外の政治関連ニュースのチェック（毎週 2.5 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				50%		①、②
	ミニ・レポート				20%		①
	リフレクション・カード				20%		①、②
	授業中の質疑やクイズへの積極的参加				20%		②
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	なし						
参考文献	川崎修、杉田敦 [編]『現代政治理論』新版補訂版権、有斐閣、2023 年。 羅芝賢、前田健太郎『権力を読み解く政治学』有斐閣、2023 年。						
その他	Moodle 上からのアナウンスで連絡をするのでメールの確認をしっかりとすること。						